

市民の方から寄せられた市政へのご意見や感想などを紹介します。

質問 本を読むことが増えたのですが、本はどこで借りて、どこで返却することができますか。

回答 本の貸し出しや返却は、次の公共施設で行っています。

【貸し出し・返却】

- ・市立図書館
- ・移動図書館「はまゆう号」
- ・早岐・相浦・世知原・宇久地区コミュニティセンター図書室

【取り寄せ・返却】

- ・大野・宮・小佐々・江迎・吉井・鹿町・針尾地区コミュニティセンター窓口

※市立図書館が休みのときは、玄関左側の「返却ポスト」に返すことができます。

※大野・宮・小佐々・江迎・吉井・鹿町・針尾地区コミュニティセンター窓口は、平日 8 時 30 分から 17 時 15 分までの受け付けとなります。市立図書館の開館時間とは異なりますのでご注意ください。

市立図書館 ☎ 22-5618

市立図書館の返却ポスト



公式キャラクター SABON 佐世保市立図書館 利用案内



広報アンケート

「広報させば 10 月号」満足度アンケート

次の①～④のうち、当てはまる番号をお答えください。

- ①大変良い ②良い ③不満 ④大変不満

応募方法

「はがき」か「Eメール」または「応募フォーム」に、①「広報させば」満足度アンケートの該当番号②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥広報紙(特集)へのご意見⑦広報紙(特集以外)や市政に関するご意見を書いて、10月20日(木)までに(消印有効)広報係へ。

※応募は1人1通、応募者の中から抽選で決定します。発表は発送(11月中旬)をもって代えさせていただきます。

8月号のアンケート 169通

10月号プレゼント

3名様

海上自衛隊 フェイスタオルとショルダーバッグ



海上自衛隊のデザインが施された「フェイスタオル(880mm×330mm)」とセーラー服のようなデザインの「ショルダーバッグ」のセットを3名様にプレゼントします。

道の駅させばっくす 99 ☎ 42-6077

宛先

はがき 〒857-8585 (住所不要) 佐世保市役所秘書課広報係宛
Eメール hishok@city.sasebo.lg.jp (携帯電話からも可)



左記の画像を読み込むと応募画面が表示されます

アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ創設 10 周年



8月28日(日)、アルカス SASEBO 大ホールで「アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ 10 周年記念演奏会」が開かれました。

ビゼーの歌劇カルメン「闘牛士」、ベートーヴェンの「運命」、シベリウス交響詩「フィンランディア」、九十九島の美しさを曲に表現した羽田健太郎の「九十九詩人」、そしてラストの演目は「サウンド・オブ・ミュージックメドレー」と難しい曲を次から次に、美しく、そして力強く奏でたジュニアオーケストラの皆さんに、観客から大きな拍手が送られ、しばらく鳴り止みませんでした。

指揮者の清水醍輝先生が再度登場されると、コンサートマスターから感謝の花束が贈呈されました(清水先生は今回をもって退任されます)。

その後、熱烈なアンコールに応えた曲はおなじみの「ラデツキー行進曲」で、オーケストラと観客が一体となった盛り上がりの中でフィナーレとなりました。

さて、アルカス SASEBO ジュニアオーケストラは、平成 24 年 4 月に、平成元年から 24 年間活動した「佐世保市児童管弦楽団」を前身に発足し、現在は小学 3 年生から高校生まで、オーケストラと一緒に演奏したい、音楽大好きな子どもたち約 80 人が団員として活躍しています(随時団員募集中で未経験でもよろしいそうです)。

毎年の定期演奏会や九十九島音楽祭など、市内外の演奏

10周年記念演奏会の様子



©中倉壯志朗

会の他、コロナ禍前には、全国ジュニアオーケストラフェスティバルや国民文化祭への参加などで評価を高めています。

このように素晴らしい成長ができたのは、指揮者の清水先生、ミュージックアドバイザーの新日本フィルハーモニー交響楽団桂冠名誉コンサートマスター豊嶋泰嗣先生のご指導とともに、何よりも地元 20 数名の音楽家や OB・OG の皆さまの長年にわたる熱心なご指導のたまものであり、改めて心から敬意を表する次第です。

さらには、ジュニアオーケストラが継続できているのは企業、団体、個人のスポンサーの皆さまのおかげでもあり、深く感謝の意を表しますとともに、今後とも引き続きご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

最後に、アルカス SASEBO ジュニアオーケストラが今後ますます成長、発展しますことを期待するとともに、市民の皆さまの力強い応援をどうぞよろしくお願いいたします。

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信 126

聞いて「徳」する話 86 自作の傘と物を大切にすること

「最近の子は、物ば大切にせんねー」妻の言葉です。

小学 2 年生の孫は、梅雨時になると必ずと言っていいほど傘を壊してしまいます。低価格で傘を買うことができる時代ですが、孫のためを思って買った傘が何度も使えなくなってしまうと、さすがに愚痴も出るものです。子どもたちには物を大切にしてほしいと願うところですが、自分も含めて守ることができているのかわかりません。

先日、孫が雨の日にあまり見掛けられない傘を使っていました。聞くと、最近は傘を自分で作ることができるらしく、お母さんと一緒に作ったとのことでした。孫はその傘を大事に使っており、それからは傘を壊していないようです。

さまざまな分野で効率化を優先する時代になってきましたが、時には自分で頑張って物を作ることで、物の大切さを認識するのだなと思った雨の日でした。(70代男性)

「聞いて徳する話」募集中

身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市ホームページからもダウンロードできます。☎佐世保徳育推進会議 ☎ 23-2856